

SDPH-2・SDPH-3 据置台 設置工事説明書

Paloma



警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

■機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された設置を行う

■この部材は本品を指定する機器に使用する

1. 付属部品の確認

梱包の中には、下記の付属部品が入っています。取り付けされる前にご確認ください。

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
据置台組立		1	とびら		1
止めねじ		2	六角ボルト		4
固定板A		1	固定板B		1
平座金付ナベ小ねじ (M4×8)		1	設置工事説明書 (本書)		1
ナベ小ねじ (M5×10)		4			

※据置台組立・とびら・止めねじは、セットになって梱包されています。

2. 設置工事について

機器の設置工事説明書に従って設置場所が決まりましたら、裏面の取付方法に従って、設置工事を行ってください。

- (1) この据置台を設置する床には機器の満水時の質量と据置台の質量（右表）の合計が加わりますので、地面に直接置かず、モルタルまたはコンクリートブロック、レンガなどの不燃材の設置台を設けて設置してください。
- (2) 設置する床面は凹凸や傾きのないようにしてください。
- (3) 機器取付場所の排水処理を確認し、機器が冠水しない場所に設置してください。

据置台		対応機器	
据置台の品名	据置台の質量	器具名	給湯器の質量 () 内満水時の質量
SDPH-2	3.2kg	PH-1015AW	13.5kg(14.5kg)
		PH-1615AW	
		PH-1615AWL	
		PH-2015AW PH-2015AWL	
SDPH-3	3.5kg	PH-1611ZAWL	17kg(18kg)
		PH-2011ZAWL	
		PH-2421ZAWL	



41247950001

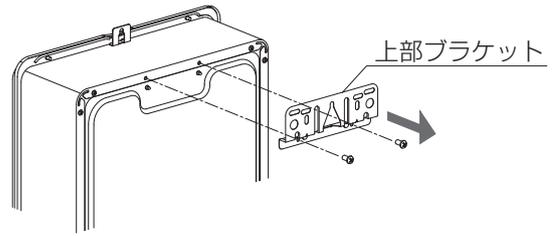
裏面へ続く

① 41-24795

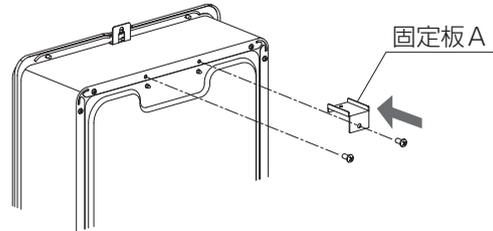
3. 機器と据置台の取付方法

- ①機器本体の上部ブラケットを取り外してください。
(ねじ2本)

取り外したねじでねじ穴の片側（背面から見て右側）に固定板Aを取り付けてください。
もう一方のねじ穴には、取り外したねじを締め込んでふさいでください。取り外した上部ブラケットは使用しません。



- ②据置台組立に付属の六角ボルト4本を取り付け、機器本体を据置台組立にのせてください。



- ③付属のナベ小ねじ（M5×10）4本で機器を据置台組立に固定してください。

※ナベ小ねじが締めにくい場合は、機器本体下部のねじを外し、フロントカバー下部を外した状態で行ってください。

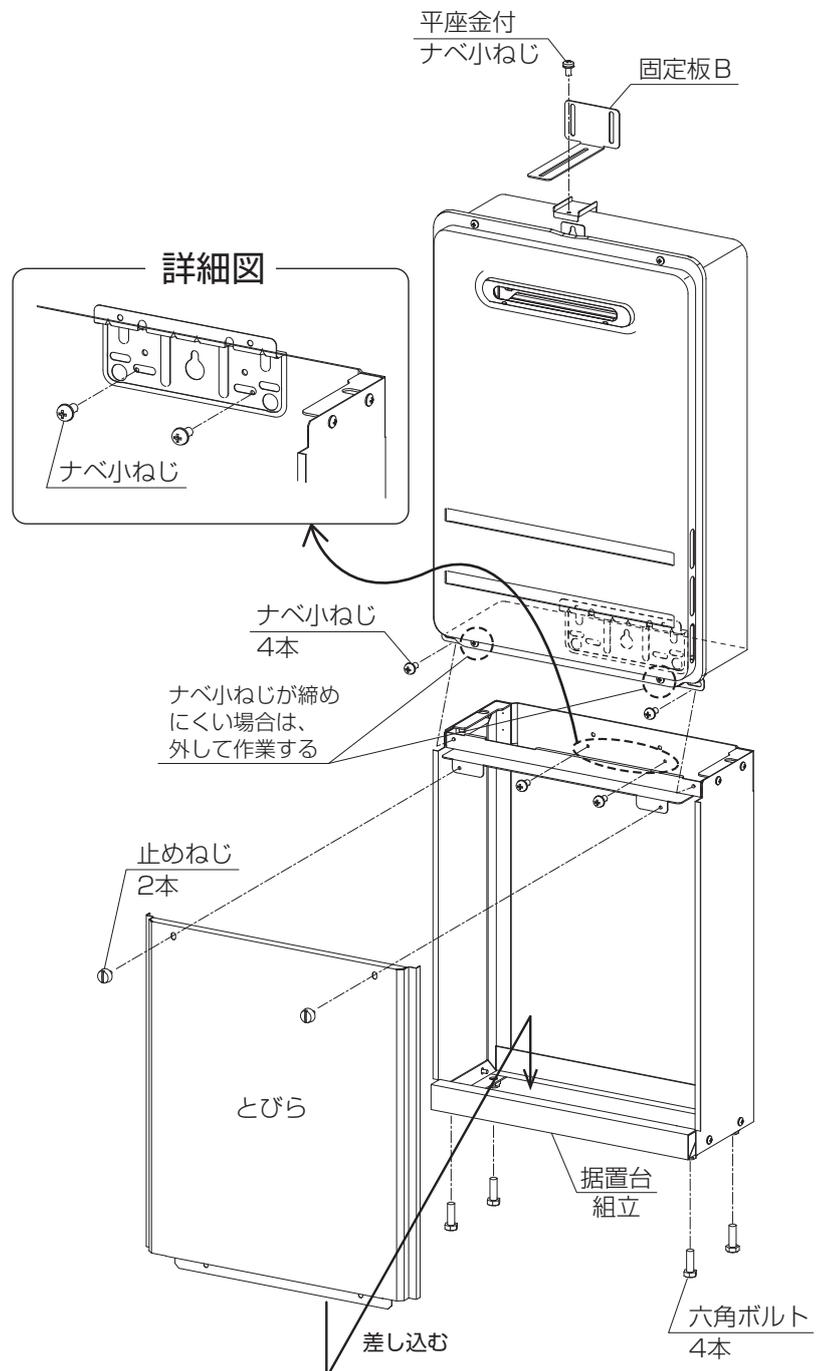
- ④固定板Bを固定板Aに付属の平座金付ナベ小ねじ（M4×8）1本で取り付け、位置調整して、下表の固定方法で壁に固定してください。

※平成25年4月施行の建築基準法改定に準拠するために、木ねじとプラグは機器本体に付属のものを必ず使用し、壁面に固定してください。

壁材	固定方法
木造	木ねじφ4.8×38mm（機器本体付属品）2本と平座金2個（機器本体付属品）で固定。 有効打ち込み深さ15mm以上が必要です。
コンクリートブロックなど上記以外	プラグ（機器本体付属品）打ち込み、木ねじφ4.8×38mm（機器本体付属品）2本と平座金2個（機器本体付属品）で固定。 プラグ下穴は、径φ6、深さ40mm以上にしてください。 下穴加工後の切粉は除去してください。

下穴あけ プラグ打ち込み 木ねじで固定

下穴 深さ



- ⑤配管接続後、とびら下部を据置台組立に差し込み、付属の止めねじ2本で取り付けてください。

※とびらが確実に固定されていることをご確認ください。止めねじがゆるんでいたり下部が差し込まれていないと、強風時にとびらが外れて風で飛ばされるなどの思わぬ事故の原因になります。